

新型コロナ感染拡大にともなう夢パーク・えんの開所について

川崎市子ども夢パーク所長・フリースペースえん代表 西野博之

新型コロナの感染拡大が加速している状況の中で、市より「緊急事態宣言下における本市行政運営方針について」が示されましたので、改めて「子ども夢パーク・フリースペースえん」の開所に関する基本方針をお伝えしたいと思います。

コロナの猛威はまだまだ衰えることもなく、不自由な生活を強いられる日々が長く続きそうであることがわかってきました。子どももおとなもストレスがたまる中、こんな時こそ外で思い切り遊べる場、家庭以外に安心して居られる居場所や相談できる場が必要であると思います。そこで夢パークは9時から18時に短縮にした上で開所いたします。また、フリースペースえんも従来通り開室することとします。

ただし、感染拡大防止の観点から、以下のことを大事にしたいと考えます。

「新型コロナに、うつらない・うつさない」

●特に高齢者や基礎疾患や障がいがある子どもにとって、このコロナの感染は命にかかわるリスクがあります。また最近の症例では乳幼児も重症化することがわかってきました。コロナに「うつらない」「うつさない」が最も大事なことです。電車など公共交通機関を使って「夢パーク・えん」に通ってくる人は、感染のリスクを伴います。原則として家の中に安全で、安心していられる環境がある人は、しばらくの間、外出を避けて家で過ごすようにしてください。あるいは、来る回数や居る時間を減らしてください。

また、室内は「密閉」しないように、換気に心がけましょう。人が「密集」しないようにする、「密接」に近づかない環境をつくり出すためには、一人ひとりの自覚と協力が必要です。感染拡大防止のために自分たちができることを考えましょう。

●皆さんに守ってほしいことは、別紙「子ども夢パークとフリースペースえんの利用について」に書きました。よく読んで下さい。

●夢パークでボールやラケット類の貸し出し・使用が当分の間できなくなります。この機会に友だちとの距離をあけて、接近せずどんな遊びができるか募集します。みんなからの面白い提案を楽しみにしています。

●感染拡大防止に向けて、一人ひとりが想像力を発揮し、自分の身を守り、他者のいのちを守るために何ができるかを、自分の頭で考え、みんなで話し合っ行っていきましょう。「川崎市子ども権利条例」の具現化をめざしてつくられた子ども夢パーク。これからも「子どもの最善の利益は何か」を考えて、開き続けていきたいと思ひます。みんなの居場所をみんなで力を合わせて守っていきましょう。よろしくお願ひします。